

## 抗 VSP (Vegetative Storage Protein 1) 抗体、ウサギポリクローナル

81-126 100  $\mu$ g

**輸送・保管:** 4°Cで発送し、短期的には4°Cで、長期保存には-20°Cで凍結させないで保管する。

**反応性:** シロイヌナズナの VSP1 蛋白質。配列が非常によく似ている VSP2 タンパク質と反応することがある(86%の同一性)。他の植物種では試験されていないが近縁の植物では反応する可能性が高い。

**免疫原:** Arabidopsis thaliana の組換え His6-VSP1。

**確認済用途:**

1. ウェスタンブロット法(1/1,000~1/2000)

**純度:** ウサギ抗血清から His6-VSP にプロテイン A で精製した IgG 分画。

**フォーム:** PBS 中 2mg/ml、50%グリセロール。フィルター滅菌済み。

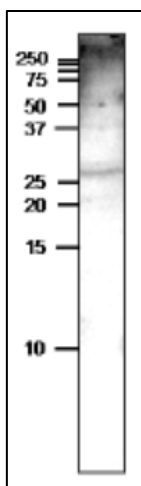
**背景:** VSP1(栄養貯蔵蛋白質 1)は初期実生発育中の体細胞貯蔵蛋白質として機能する可能性がある。270 aa 蛋白質として合成され、17 aa を有するシグナルペプチドは成熟型で除去される。アミノ酸 115 と 215 で Glycosylation されている。

**組織特異性:** 葉および生殖器で、特に style、卵巣の基底端および遠位端当発現される。

**細胞内局在:** 液胞

**発現:** Vsp 1 からのプロモーターは、雌ずい、特に様式、子房の基部および遠位端、および silique (角果) において発現したが、Vsp 2 からのプロモーターは、花器官の栄養シュート、葉柄、花柄 および受容器官においてその活性を示した。これらの結果は、Vsp 1 および Vsp 2 の発現が、A. thaliana において発生的に調節されている可能性を示唆している。

**データリンク:** UniProtKBO49195 ([Link](#)) (VSP1\_ARATH)。O82122 ([Link](#)) (VSP2\_ARATH)



**図 1 Arabidopsis 全抽出物中の VSP のウェスタンブロット**

Arabidopsis thaliana の成熟シリクの粗抽出物を SDS-PAGE (15%)上で泳動し、ウェットシステムにより PVDF 膜にブロットした。3%脱脂乳でブロックした。抗 VSP 抗体は 2  $\mu$ g/ml で使用した。2 次抗体(ヤギ抗ウサギ IgG 抗体 HRP 結合、ab97051)を 1/10,000 希釈で用いた。VSP1 の分子量は 28 kDa

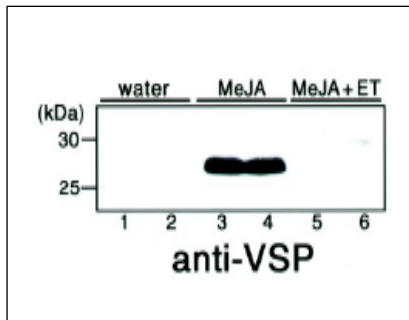


図 2 VSP のウエスタンブロット:MeJA による VSP の誘導

MeJA で処理したロゼット葉における ER 体の誘導抽出物を SDS-PAGE にかき、抗 VSP 抗体で免疫ブロットした。レーン 1 および 2、水処理; レーン 3 および 4、50  $\mu$  M MeJA 処理; レーン 5 および 6、50  $\mu$  M MeJA+20  $\mu$  l/L エチレン 36 時間処理。

使用文献。この抗体は参考文献 1 に記載されており、以下の文献で使用されています。

1. Matsushima R et al. An endoplasmic reticulum-derived structure that is induced under stress conditions in *Arabidopsis*. [Plant Physiol.](#) 2002 Dec;130(4):1807-14. PMID: [12481064](#) WB (*Arabidopsis*)
2. Yamada K , Nishimura M, Hara-Nishimura I. The slow wound-response of  $\gamma$  VPE is regulated by endogenous salicylic acid in *Arabidopsis*.P [Planta](#) **218**, 599-605(2004) PMID: [14600834](#) WB (*Arabidopsis*)